

電力系通信会社の強みを生かした電源構成と大容量回線を誇る

高信頼の広島データセンターを軸に トータルソリューションの提供と 新ビジネスの創造に挑戦する



生活、ビジネス、社会のあらゆる場面で、
心の通うコミュニケーションづくりを支援

Kumagai
株式会社エネルギー・コミュニケーションズ
代表取締役社長
熊谷 鋭氏
Satoshi

「通信」と「情報」の2つの事業を柱にトータルソリューションを提供する、中国電力グループのエネルギー・コミュニケーションズ。個人向けのインターネットサービス「MEGA EGG(メガ・エッグ)」に加え、通信回線やクラウド、セキュリティなど多彩な法人向けサービスにより、中国地方のコミュニケーション基盤を支えている。2016年12月には、最新のファシリティを誇る「EneWings広島データセンター」を開設。同センターを軸とした新事業の展開について、代表取締役社長の熊谷鋭氏に訊く。

——事業概要をご紹介ください。

中国電力グループの一員として、地域に根差した情報通信事業を展開しています。中国地方全域に光ファイバを保有し、個人・法人のお客様に通信ネットワークをご提供。「電気通信」と「情報処理」の2つの柱で、総合的なITソリューションのご提案と、より良いコミュニケーションづくりを支援

しています。

——法人向けサービスではどのような事業展開をされていますか。

法人向けトータルソリューションブランド「EneWings(エネウィングス)」による様々なサービスを、中国地方の企業・自治体を中心に全国でも展開しています。通信回線では広域イーサネット、VPN、インターネット、ソ

リューションにおいてはクラウド、データセンター、セキュリティなどを中心にお客様ニーズに合わせたサービスをご提供しています。

多彩に活用できるデータセンター

——昨年12月には、「EneWings広島データセンター」を開設されました。

広島南と岡山に続く、当社では3拠点目のデータセンターとなります。IT環境の進化は目覚ましく、IoTやAIの普及により、社会全体にさらなるイノベーションがもたらされることが予想されます。そうした将来を見据え、お客様の情報資産を守りつつ、システム構築や運用なども支援し、あらゆるデータの集積・分析をサポートする、最新鋭のデータセンターを建設いたしました。地元企業様にはコアインフラとしてご活用いただいています。また、最新鋭の機能を備えるデータセンターが地方都市の広島にあることは、首都圏を含む全国のお客様にとって、BCP(事業継続計画)／DR(災害復旧)サイトなどのバックアップ拠点の選択肢が増えるという意味でも、大きなメ

リットになると考えています。

——他社のデータセンターとの違いやアドバンテージはどこにありますか。

最大の特長は、通信事業者の強みを生かし、データセンター、クラウド、通信回線を一元的にご提供できる点です。また、同一建物内のサービスオペレーションセンターで24時間365日有人監視を行っているため、何かあった際も迅速に対応可能。お客様が各サービスを個別に調達・運用する必要がなく、安心・安全に利用できる環境を整えています。広島駅近隣という、利便性に富んだ立地も大きな利点といえるでしょう。

——災害リスク対応やセキュリティについてはいかがですか。

建物には、高減衰積層ゴムとオイルダンパーを併用したハイブリッド免震構造を採用し、大規模地震などにも対応しています。また電源構成においては、異なる2つの変電所から特別高圧を常時2系統で地中ルートにて受電するほか、非常用電源として4000kVAのガスタービン発電機(最大4機設置可能)および無停電電源装置(UPS)を整備。万一の商用受電停止時にも、無

給油で72時間連続運転を可能としています。

一方、セキュリティは、ICカードと生体の2要素認証、共連れ防止装置、監視カメラなど7段階で実施。サーバ保護に欠かせない空調にも高効率のデータセンター向けパッケージ空調機を採用しているため、高信頼の環境をご利用いただけます。

——「EneWings広島データセンター」で提供されるサービスをご紹介ください。

ICカードでの施錠が標準装備されたラックの提供、豊富な電源メニューといった基本の「ハウジングサービス」に加え、運用支援として「マネージドサービス」をご用意しています。これは、定期レポート作成や作業代行などのオペレーション、アプリケーションや各種リソースを監視するサービスです。2つを組み合わせることで、運用負荷の軽減や故障の早期検知・復旧が可能となります。

社会基盤を支える新ビジネス

——法人ソリューション分野における今後の展開についてお聞かせください。

IoT分野では、昨年10月に米FogHorn Systems社と日本初となるパートナー契約を締結。製造現場におけるリアルタイム性の高い「データ分析」と「見える化」により、機械点検の自動化や故障予兆の把握、生産品質の向上、電気利用の効率化などをもたらすプラットフォームのご提供を開始しました。また、ロボット分野では、身体機能を改善・補助・拡張する、サイバーダイン社のロボットスーツHAL®の取り次ぎを実施。作業・介護現場での腰部の負担軽減や医療・介護分野における患者様へのトレーニングなど、地域社会を支えるビジネスを展開しています。今後は、これらの事業で得た知見やデータをデータセンターに集積し、さらなる価値向上に努めてまいります。

■EneWings広島データセンター



2016年12月にオープンした「EneWings広島データセンター」。通信回線からクラウド、データセンターまで一元監視・運用するサービスオペレーションセンターも併設。



株式会社エネルギー・コミュニケーションズ
〒730-0051 広島市中区大手町二丁目11番10号
http://www.enecom.co.jp